

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式									
E142N017		英作文(English Composition)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
選択	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 麻生 雄治 E-mail 内線												
授業の概要	中学校及び高等学校において、生徒の理解の程度に応じた英語で授業を行うための英語運用能力を身につけるとともに、英語を通じて事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら的確に書く能力を伸ばし、実際の社会生活において活用できるようになることをめざす。																	
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 パラグラフ構造を適用し、さまざまなタイプのパラグラフを書くことができる。																		
目標2 聞いたり読んだりした内容について、概要や要点を書くことができる。																		
目標3 書く過程を重視し、目的や場面、状況に応じて、説明や描写の表現を工夫しながら英語で書くことができる。																		
目標4 パラグラフ構成をもとに、エッセイやアカデミックな英文を書くことができる。																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 ガイダンス、ライティングのための基本留意事項																		
2 英語らしいパラグラフの書き方： センテンスの構造、意味順																		
3 英語らしいパラグラフの書き方：Flow of Sentences、 OREQ / PREP																		
4 英語らしいパラグラフの書き方：Basic Paragraph、 Cohesion																		
5 英語らしいパラグラフの書き方：Developing Coherence、 Coherence																		
6 英語らしいパラグラフの書き方：Guiding Your Readers、 主語の決定																		
7 センテンス・コンパニング：センテンスどうしを効果的に結ぶ方法																		
8 英語らしいパラグラフの書き方：Hedges and Boosters、 「人」と「モノ」の主語（名詞構文）																		
9 英語らしいパラグラフの書き方：Generating Ideas、 あいまいと言いつり																		
10 英語らしいパラグラフの書き方：How to Attract Your Readers、 否定と肯定																		
11 英語らしいパラグラフの書き方：Supporting Your Ideas、 冗長と簡潔																		
12 英語らしいパラグラフの書き方：Concluding Paragraphs、 前置修飾と後置修飾																		
13 英作文の評価法：上手な英作文とそうでない英作文の吟味・評価、 受動態と能動態																		
14 誤文訂正：効果的なフィードバックの与え方（ピア・レスポンス）、 副詞の効果																		
15 Email Writing: 基礎的な英文Eメールの形・表現、上手な英文Eメールの書き方																		
ラ ー ク ニ テ ィ ン グ	A:知識の定着・確認	小テスト、ペア・グループによる協同学習、ピアレスポンス				工 夫	そ の 他 の											
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	予習：練習問題を解きながら、学習内容の概要を(できる範囲で)理解する(1h)。																
	事後学修	復習：学習内容を整理し、与えられたトピックに関する英作文(パラグラフ・ライティング)を書く(1h)。																
教科書	中谷安男、『Academic Writing Strategies』(金星堂、2020) ISBN9784764741096																	
参考書	授業内で適宜紹介する。																	
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10						
	小テスト	30%																
	エッセイ(課題)	10%																
	中間試験	30%																
	期末試験	30%																
注意事項	英和辞典を使用する(電子辞書：可)。																	
備考	なし。																	
リンク	なし。																	
	URL																	

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	公立高等学校教員として、授業内外で英語の指導を行った。
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	なし
実務経験を いかした教 育内容	学習者の理解度に応じた適切な教材、方法、評価を取り入れた授業を展開する。